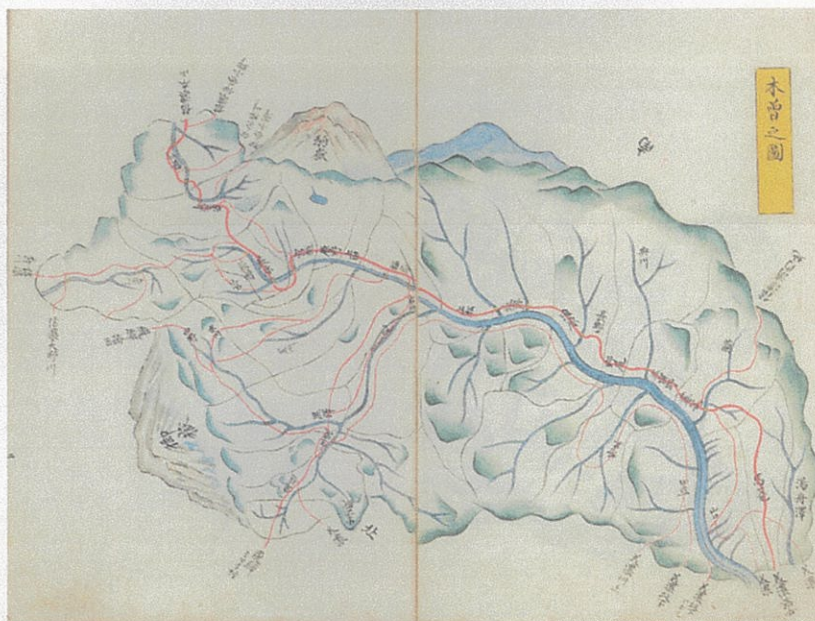


第8回 木曾学講座

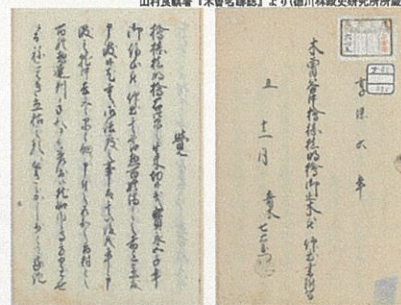
尾張藩林政の展開と山村家 ～享保林政改革を中心に～



山村家蔵『木曾名跡』より(徳川林政史研究所蔵)



山村家蔵『木曾名跡』より(徳川林政史研究所蔵)



『木曾谷中権蔵・徳川御正木御出書帳』より(徳川林政史研究所蔵)

本講座では、享保年間（1716～36）におこなわれた尾張藩の林政改革にスポットを当て、その具体的内容や推進した人物、さらには木曾代官山村家との関わりについて、史料にもとづきながらご紹介します。

12月19日 金 13:30～15:00

講師

(公財)徳川黎明会 研究員 萱場 真仁さん
徳川林政史研究所

会場

木曾町文化交流センター 多目的ホール

その他

- ・ 事前申し込みは不要です。
- ・ 行政ポイント対象事業(10ポイント)



お問い合わせ

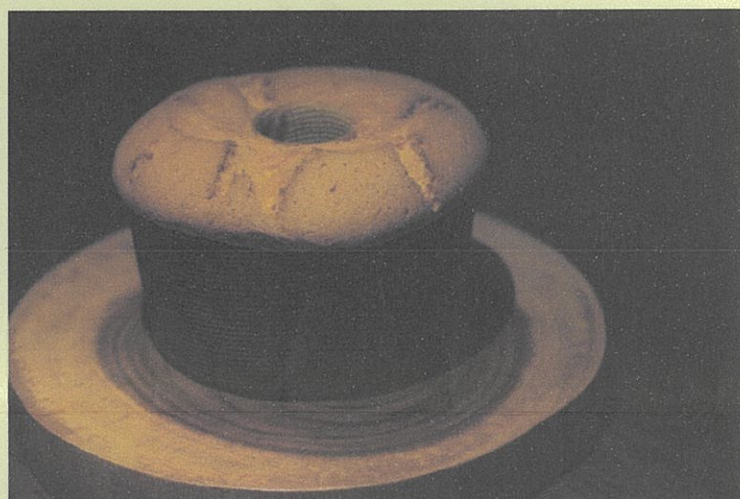
木曾町教育委員会 生涯学習課

TEL 0264-23-2070

地元のパティシエさんに学ぶ
木曽の食べ物を使った
お菓子作り教室



木曽の特産物「甘酒」を使ったシフォンケーキを作ります。
福島でカフェを営む茶房松島さんの松澤さんに教えていただきます。
みんなで楽しくお菓子を作りませんか♪



日 程 令和7年12月6日(土)
時 間 9:30~12:00
場 所 木曽町文化交流センター 調理室
申込期間 11/10(月)~11/21(金)
定 員 20名(申込者多数の場合は町民優先の抽選とします)
持ち物 エプロン・三角巾・マスク・参加費
参加費 1人500円

次回は
2月にバレンタイン
のお菓子作りを
開催します♪



お申し込み・お問い合わせ
木曽町教育委員会 生涯学習課
TEL 0264-23-2070





NEWS 新着情報

御嶽山国定公園（仮称）住民説明会が木曽合同庁舎で開催されました。

10月18日（土）に木曽合同庁舎で御嶽山国定公園（仮称）指定へ向けた取組について、長野県環境部自然保護課より住民向けの説明会があり約30名が参加。質疑応答も行われました。

名古屋大学御嶽山火山研究施設より

木曽の山々も秋の彩りを深め、日ごとに冷え込みが増してきました。今は多くのお客さまでにぎわう季節ですが、ひと月もすれば凍てつく寒さが訪れ、木枯らしとともに空気が張りつめた静かな日々になります。私たちビジターセンターは、そんな静かな季節こそ、地域を見つめ直し、冬ならではの木曽の魅力、澄んだ空気や星空の美しさ、凜とした静けさを語り合う場でありたいと思います。木曽地域の皆さまも、どうぞ気軽に立ち寄り、スタッフに声をかけてみてください。



みなさんの声（来館者アンケートより）

胸が苦しくなるほど現実味を感じる展示をありがとうございます。噴火災害についてしっかり知っておきたかった。御嶽信仰について興味もあり、とても有難いセンターです。アニメーションも感動的、すばらしいものでした。（長野市、50代）



紅葉の季節に御嶽山登山に主人と来ました。映像を見て噴火災害にあわれた登山者の方々はこわかったでしょうし、綺麗な紅葉を見て感動していた矢先の出来事でひと事ではなく、皆さんの気持ちを考えると涙が出ました。救助活動にあたってくださった山小屋の方や救助隊の皆さんの様子もうかがえて感謝の気持ちでいっぱいとなりました。（東京都、40代）

木曽町御嶽山ビジターセンター

【開館】9:00 - 16:00

【休館】月曜休館 11月まで月曜休館。12月より月・木曜休館。

団体・研修等のご予約は別途お問合せ下さい。

☎ 0264-24-0197



最新御嶽山
火山情報はこちら

MONTHLY 月替わり情報&EVENT

11月 交流スペースイベント予告

きそ歴史芸術文化調査研究会主催参加型フォーラム2025

「御嶽山の文化とくらし」

11月22日(土) 13:30-16:00 [申込不要・2部制]

第1部では、交流スペースを会場に、三岳地区にある「常盤橋」に関する最新の研究調査を専門家の方からお聞きます。

第2部では野外の大階段を会場に御嶽山について身近な話題を通し郷土の歴史文化・火山防災についてなどをみなで語る機会を作ります。どなた様もお気軽にご参加下さい。



現在の常盤橋付近

講演：木曽御嶽信仰を介した木曽と東京の意外な接点
講師：乾 賢太郎氏（大田区立郷土博物館主任学芸員）
第2部（フォーラム）は 野外で行う予定。

詳しくは回覧チラシを参照下さい。



キッチンカー（チャイとふくれ/ミミーサンド）
来場予定です！暖かくしてお越しくださいね！

開催中イベント 木祖村主催事業

8月4日(木)～11月30日(日) 最終日迫る！

「木曽ミュージアム双六はんこラリー」

広い木曽谷を縦断し、7施設をめぐるはんこラリーもいよいよ期間は11月30日まで！祝祭日の多い秋の行楽シーズンに、ラストスパートで3館賞、7館賞を達成してみませんか？

※VCやまテラスは
11月3日、今季の開館が終了しました

ビジターセンター 今月の一冊

「火山で読み解く古事記の謎」2017年
（蒲池明弘/文芸春秋新書）

もし、7300年前の噴火を縄文人が記憶していたのだとしたら…？著者が記紀に登場する神話の地を足で巡り、地質学や各地の火山神話を参照しながら、縦横にイマジネーションを広げた一冊です。



【編集後記】4月に初めて便り【第1号】を発行してから、あっという間の7ヶ月。5月には「やまテラスからこんにちは！」夏には「御嶽山火山マイスター通信」も創刊されました。それぞれ細かな話題をお届けして、地域の皆様とよりつながることで、御嶽山と私たちの関りについて、もっと身近に感じていただけたのではと思うこの頃です。よろしければこの便りやビジターセンターについて、皆様からのご感想をお聞かせ下さい。



噴火災害から11年 ～登山の安全啓発と魅力発信～



石室山荘&黒澤館オーナー
向井修一
マイスター1期生

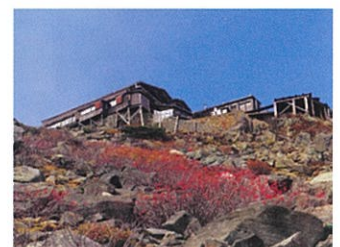
御嶽山は、2014年9月27日（土）の噴火災害から11年が経ちました。当時、私は山小屋で噴火を体験し、150人の登山者を迎え入れ避難誘導に当たりました。

噴火体験談については、地元小学校の子どもたちにお話する機会をいただいております。私の話を聞いた子どもたちが、次世代に活火山のことを伝えてくれたら嬉しいと思っています。

安全啓発活動でヘルメット着用について登山者にお声がけはしますが、あえて強要はしていません。逆に、装備をしっかりされている登山者を褒めて、そうでない登山者に装備の大切さが伝わればよいと思い、お話しさせていただいています。

魅力発信については、四季折々の植生、登山ルートのご案内、ライチョウの生態、御嶽山の歴史を知っている限りの角度からお話しています。

今季もありがとうございました。麓の黒澤館は冬季も営業しております。ぜひともお立ち寄りください。（向井）



■ 啓発活動報告

● マイスター認定から3年経て

私は御嶽山安全登山啓発活動に参加して3年目となります。1年に2回ほど参加しておりますので、今回で6回目となりました。この3年間で、ヘルメットの携行率に大きな変化が見られました。3年前は、ヘルメットをリュックに付けていたり、リュックに入っているとされる膨らみがあったりする登山者は、それ程多くは見られませんでした。

しかし今年の9月27日は、朝7時のロープウェイ運行開始時に並んだ約100名の登山者の9割以上がヘルメットを携行していました。中にはすでに着用している方の姿も見られました。もともと落石や転倒による頭部打撲などの観点から、ヘルメット着用が推奨されていましたが、この3年間で噴火に備えてのヘルメット携行の意識がかなり高まってきたと、実感しました。そこには、噴火を振り返った防災・減災番組の影響も大きかったかもしれません。啓発活動を行うごと



マイスター6期生
池田信三

「噴火からもう11年にもなるんですか！」など登山者の皆さんからかけていただく言葉が増えてきているように思います。「お気をつけて！」のお見送りの言葉に、安全の願いを込めて、これからも啓発活動を続けていきたいと思っています。



アンケートの
QRコードは
←こちら！

■“御嶽山頂カメラたん”紹介

● サポーター田ノ上和志さん



カメラたん映像（剣ヶ峰にて黙禱する登山者たち）

御嶽山火山マイスターネットワーク(O.V.M.N.)には、マイスターを応援するサポーターも在籍しています。その一人である田ノ上和志さんは、名古屋大学の御嶽山火山研究施設の元研究協力員で、O.V.M.N.のNewロゴ作成にあたり原案を出

して、多大なサポートをしてくださいました。（裏面）
また、剣ヶ峰の**ライブカメラ**である【御嶽山頂カメラたん】を設置され、御嶽山の安全啓発を担っておられます。
YouTubeにて過去のアーカイブ映像や、時期によっては
ライブ映像も公開されています。
チャンネル登録よろしく
お願いします。



【御嶽山頂カメラたん】
@live_ontake3067
YouTubeチャンネル
←登録はこちら



【御嶽山頂カメラたん】
@live_ontake3067
YouTubeチャンネル
←登録はこちら

●アンケートカードの配布

啓発活動では、美しい御嶽山の自然の写真を名刺ほどのサイズに仕上げた3種類のアンケートカードを配布していました。

裏面にはQRコードが記載されており、そこから回答いただくシステムです。「毎年登っているんですよ。昨年もカードいただきました！」などのお声もいただき、登山者にはかなりの人気でした。左記からもアクセスできるのでぜひご協力お願いします。（池田）



■マイスターが日本火山学会で個人発表！ ～日本火山学会2025年秋季大会～

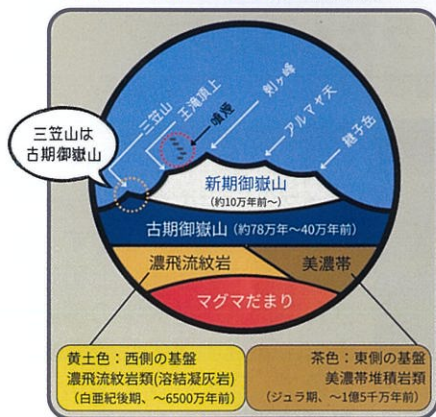


日本火山学会秋季大会で、第24回地震火山地質こどもサマースクール御嶽山(木曾町,王滝村で8月に開催)について、発表してきました。サマースクールでは小学5年～高校生までの子供たちがチームをつくり、「御嶽山はなぜ大きいのか」をはじめとする3つのナゾを、各地の観察や実験を通して解き明かしていきました。サマースクールを通して、子供たちがどのようなことに興味を持ち、何を感じたのかアンケートから分析した結果や、幅広い年齢層の子供たちが協働して謎を解き明かしていくことの教育的な意味を発表しました。合わせて、今回のサマースクールで講師をはじめ、現地スタッフとして活躍した御嶽山火山マイスターの活動についても紹介しました。また「出張御嶽山ビジターセンター」のブースでは多くの方に足を止めていただき、私たちマイスターの活動について火山の専門家の皆様にも知ってもらい、いい機会となりました。(山本)



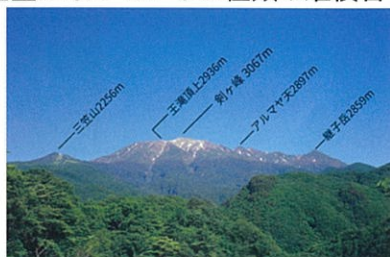
■ロゴの解説

サポーター田ノ上さん(表面紹介)の原案をいただき、O.V.M.N.でアレンジを加え、今夏めでたく完成したNewロゴカラーバージョンの解説をいたします。



●Newロゴ(カラーVer.)

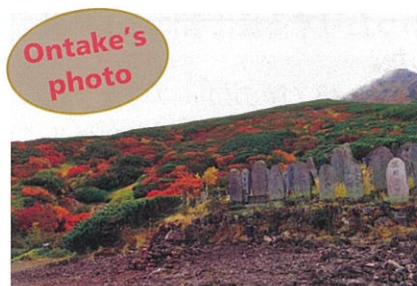
ポイントは古期御嶽山の名残である三笠山です。三笠山も御嶽山であるということにご注目ください。さらに地中部分には、基盤になっている2種類の堆積岩類を配置し、御嶽山は活火山であるというPR観点から、地下のマグマだまりと噴煙を入れました。三岳地区から見える御嶽山と同じ構図になっています。(松下)



●三岳地区から見た御嶽山

■イベント報告

火山学会の最終日10/4に開催された『公開講座・親子火山実験』には、火山や地質に興味がある子供たちが多く集まりました。室内では、簡単な道具で水蒸気噴火や溶岩流を再現する実験を行い、屋外では、実際に1000℃の溶岩を作り砂山に流して観察をしました。溶岩実験は子供達だけでなく、大人の方々も興味を持って見入っており、こういった実験を通して、火山や地質学への関心が高まっていけば嬉しいです。(小口)



「御嶽山の紅葉」

記録的猛暑の夏でしたが、9月の冷え込みで紅葉がすすみ、洞沢など北アルプス各地からは10年ぶりの素晴らしい紅葉だとの知らせが。私たちの山、御嶽山の紅葉もひけを取らず、黒沢口登山道8合目の森林限界に近い女人堂付近では、ナナカマドが素晴らしい色付きで目を楽しませてくれました。「今年の紅葉は、2014年の噴火以来一番かもしれない」と女人堂の支配人も話しておりました。荒々しい山頂稜線と紅葉のコントラストは御嶽山ならではの風景...正式に国定公園になれば、紅葉シーズンはさらに賑わうはず。火山マイスターとしても嬉しいシーズンとなりました。(三浦)

■お問い合わせ&SNS



木曾町御嶽山
ビジターセンター
さとテラス三岳

- 長野県木曾郡木曾町三岳10491-1
- 0264-24-0197
- ovm.network@gmail.com
- 各種SNSは右記のQRコードからフォローよろしくお願いします!



Instagram



Facebook



X(Twitter)



マイスター
紹介ページ



回覧

きそ研 参加型フォーラム2025

御嶽山の文化とくらし

日時 **11月22日(土)** 13:00-16:00 予約不要 参加費300円(資料代)

会場 木曽町御嶽山ビジターセンターさとテラス三岳 交流スペース ほか

第一部 研究発表「木曽御嶽信仰を介した木曽と東京の意外な接点」

13:10 講師 乾 賢太郎氏 大田区立郷土博物館主任学芸員

↓
14:20 木曽御嶽信仰について、特に江戸への伝播、東京での普及をご紹介します。また、関東における木曽御嶽講の四大講祖の一人である一山行者が御嶽神社（東京都大田区北嶺町）を設け、信仰を広めた事例についてや、同神社に所蔵されている、大絵馬「常盤橋落成図」（木曽町三岳の常盤橋の渡り初めの様子が描かれています）に注目し、常盤橋が架けられた意義についてご報告いただきます。乾氏は20219年に大田区立郷土博物館で開催された特別展「嶺の御嶽山と一山行者」の企画担当者です。



Kentaro Inui
専門は民俗学
地方史研究協議会常任委員
日本山岳修験学会評議員
同学会第13回奨励賞受賞

第二部 参加型フォーラム（フリートーク・哲学カフェ）予約不要

14:40 御嶽山の文化とくらしを語りましょう。
↓
15:50 木曽御嶽信仰・百草と文化・火山防災…

古くから御嶽行者が数多く訪れてきた御嶽山の現在について、尾張藩の薬箱とも評されてきたこの地の「百草」文化や、火山に対する向き合い方と防災などについて、フリートーク（哲学カフェ）で語りませんか？



キッチンカー「チャイとふくれ」「ミミーサンド」来場予定！



さとテラス三岳 大階段

写真：①大絵馬「常盤橋落成図 [部分]」（明治7年8月8日以降、板絵着色 縦153×横138.5cm・東京都大田区北嶺町御嶽神社所蔵）
②木曽町三岳橋渡「常盤橋」付近近景 ③田ノ原から見た御嶽山

きそ研noteサイト

主催 きそ歴史芸術文化調査研究会

協力 木曽町御嶽山ビジターセンターさとテラス三岳 /道の駅三岳 /木曽町役場三岳支所
御嶽神社（東京都大田区北嶺町）

助成 令和7年度木曽町まちづくり活動推進事業補助金

問い合わせ先 伊藤（090-1866-9312）



—— すべて木曽谷で撮られた物語
静かな山間の日常の中で交差する想い

回覧

特別映画上映会



まだ言わないでおこう

みっちが営む旅館「山水」。
そこにヘルプでやってきた妹かなこと恋人の拓海。
拓海はそろそろかなこと籍を入れたく、
みっちは旅館をかなこと一緒に営みたい…。
短い滞在の中でお互いの思案が交差する。

29分

監督：たかはしそうた

蚕時雨

和也と詩織は旅行で木曽へやってきた。
詩織は途中、買い物をした先でマグカップを購入する。
旅館へやってくるとそのマグカップの作者である奥野と出会う。
さらに和也は奥野が幼い頃の幼馴染であることに気づく。
和也と奥野は久々の再会だが、どうも様子がおかしい…。

20分

出演：服部竜三郎、齊藤由衣、micci、奥野宏、他

2025年11月16日(日) 14:00～ (開場13:30)
木曽町文化交流センター 入場料：無料

【上映後にトークショー】

登壇者：服部竜三郎（俳優）、齊藤由衣（俳優）、たかはしそうた（監督）、小菅雄貴（撮影）、岩倉龍一（技術助手）

【お問い合わせ】木曽ペインティングス事務局 TEL: 050-3700-5277 Mail: kisopaintings@gmail.com

主催：木曽ペインティングス

後援：木曽町

支援：信州アーツカウンシル（一般県長野県文化振興事業団）



令和 7 年11 月

木曽郡各町村にお住まいの皆様

木曽郡町村教育委員会連絡協議会

木 曽 郡 学 校 長 会

木曽郡内の小・中学校でお勤めいただける方を募集しています

平素より郡内の小中学校の諸活動へのご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、木曽郡内の小中学校においては、子どもたちの健やかな成長を期して様々な教育活動を展開しているところであります。ところが、最近の教員不足が郡内も例外ではなく、先生（特に臨時的任用講師）や支援員が不足している学校があり、校内でやりくりをして運営している現状です。

そこで、木曽郡内の小中学校でお勤めいただける方を募集いたします。ご希望の方、またお知り合いでご存じの方がいらっしゃいましたら、下記担当者、またはお住まいの町村の小中学校長へご連絡ください。なお、ご不明な点は遠慮なくお問い合わせください。

【確認事項】

- ① 臨時的任用講師は、子どもたちへ学習や生活面等の指導を行っていただきます。そのため、「教員免許」が必要となります。
 - ・小学校を希望される方は、小学校教員の免許が必要です。
 - ・中学校を希望される方は、それぞれの教科の中学校教員の免許状が必要です。
 - ・教員免許が失効してしまっている場合は、発行元の各都道府県の教育委員会で再交付が可能です。紛失してしまった場合も、発行元の各都道府県教育委員会から再交付していただくか証明書を取り寄せることができます。ご相談ください。
- ② 支援員は、子どもたちの学習や行動面のサポートや、教員業務を支援する仕事で、教員免許状は不要です。

《連絡先・担当》 木曽郡学校長会講師採用担当

【小学校】木曽町立開田小学校 校長 奥原 成子

TEL 0264-42-3221

【中学校】木曽町立開田中学校 校長 古野 房子

TEL 0264-42-3321